

反グローバリズム再考
—国際経済秩序を揺るがす危機要因の研究—

グローバルリスク研究

平成31年3月



公益財団法人日本国際問題研究所
The Japan Institute of International Affairs

はしがき

本報告書は、当研究所の平成 30 年度外務省外交・安全保障調査研究事業（総合事業）「反グローバリズム再考——国際経済秩序を揺るがす危機要因の研究」プロジェクトにおいて実施した「グローバルリスク」研究会の研究成果をまとめたものです。

近年、英国の EU 離脱や米国の自国第一主義政策に象徴されるように、先進国において反グローバリズムの動きが強まり、既存の政治・経済秩序を否定するポピュリズムや排外主義が台頭し、国内そして国際秩序を動揺させています。その要因としては、経済の低成長、格差の広がりなどの経済的な諸問題や先進国への大量の移民や難民の流入があげられます。移民・難民問題は、シリア内戦や中東域内大国の覇権争い、アメリカのプレゼンスの低下による中東の不安定化が大きく影響しています。

本プロジェクトにおいては、「反グローバリズム」の根底にある世界経済の構造変化を把握すると同時に、表層に現れた政治現象の連関を経済学、地政学、政治学、社会学、地域研究から分野横断的に探求し、より複雑化するグローバルなリスクに迅速に対応乃至は未然に回避するためにリスクを分析し、戦略的な対応策を検討しています。本プロジェクトは、主に経済問題を扱う「世界経済研究会」（主査：稲葉延雄・リコー経済社会研究所常任参与）と、地政学的問題を扱う「グローバルリスク研究会」（主査：立山良司・防衛大学校名誉教授）で構成され、共同ワークショップやシンポジウム等を通して有機的に各研究会の研究成果を共有、連携して参りました。

「グローバルリスク」研究会では、地域の不安定化がグローバルなリスクを拡大し、国際社会への脅威となる事例として、本年度は（1）シリア内戦後に向けて高まるイランとイスラエルの緊張関係や、中東諸国の内政及び対米・対露関係などの中東情勢と、（2）北米のムスリム・コミュニティと「過激化」の問題を主に分析してきました。

本報告書に表明されている見解は全て各執筆者のものであり、当研究所の意見を代表するものではありません。本書が「国際経済秩序」、「中東情勢」、「人口移動問題」を様々な観点から検討していく上での意義ある一助となれば幸いです。

最後に、本研究に終始積極的に取り組まれ、本報告書の作成にご尽力をいただいた執筆者各位、その過程でご協力いただいた関係各位に対し、改めて深甚なる謝意を表します。

平成 31 年 3 月

公益財団法人 日本国際問題研究所
理事長 佐々江 賢一郎

研究体制

主 査： 立山 良司 防衛大学校名誉教授

<中東情勢・エネルギー研究部会>

委 員： 池田 明史 東洋英和女学院大学学長
今井 宏平 日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター
研究員
小野沢 透 京都大学大学院文学研究科教授
近藤 重人 日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究員
鈴木 恵美 早稲田大学招聘研究員
村上 拓哉 中東調査会協力研究員
吉岡 明子 日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究主幹

<ポピュリズム・人口移動問題部会>

委 員： 浪岡新太郎 明治学院大学国際学部教授
保坂 修司 日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究理事
(敬称略、五十音順)

委員兼幹事： 中山 泰則 日本国際問題研究所所長代行
中川 周 日本国際問題研究所研究調整部長
貫井 万里 日本国際問題研究所研究員
担当助手： 石塚 陽子 日本国際問題研究所研究助手
編集担当： 鈴木 真吾 慶應義塾大学文学研究科後期博士課程
赤川 尚平 慶應義塾大学法学研究科後期博士課程／
日本国際問題研究所若手客員研究員

目 次

平成 30 年度「グローバルリスク研究会」報告書要旨	貫井 万里…………… 1
序 章 同時進行する中東の危機とその構造的問題	立山 良司…………… 5
第 1 部 中東情勢と米露の中東政策	
第 1 章 トランプ政権の安全保障戦略と中東	小野沢 透…………… 23
第 2 章 サウジアラビアのトランプ米政権に対する政策	近藤 重人…………… 41
第 3 章 エジプトとロシアの関係強化の現状と背景	鈴木 恵美…………… 55
第 4 章 イランの対シリア政策——「防衛」か「拡張」か	貫井 万里…………… 67
第 5 章 シリア内戦の帰趨とイスラエル北辺の安全保障環境	池田 明史…………… 87
第 6 章 安定する内政・不安定化する外交——2018 年のトルコ	今井 宏平…………… 99
第 7 章 権力闘争に翻弄されるイラクの脆弱な統治	吉岡 明子…………… 109
第 2 部 北米のムスリム・コミュニティと「過激化」	
第 8 章 米国におけるジハード主義系テロ	保坂 修司…………… 123
第 9 章 過激化という問いの立て方について ——カナダ・ケベック州においてイスラームへの 帰属意識が警戒される過程	浪岡新太郎…………… 139

